

列車の運行を管理するシステムの不具合を発生させた事象の原因について

2022年12月19日に、岡山エリアの列車の運行を管理するシステムの不具合を発生させた事象について、原因が判明しましたのでお知らせします。

ご利用のお客様に多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、さらに原因を究明し、再発防止に努めてまいります。

1 発生日時

2022年12月19日（月）午前9時47分頃

2 概 況

午前9時47分頃、岡山指令所において運行を管理するシステムの更新作業を行っていた作業員（社員）が、配線を誤って電源をショートさせたため、岡山指令所で運行を管理するすべての線区において運転を見合わせました。

その後、復旧作業を行い、11時以降、11時30分までの間に、すべての線区の運転を再開しました。

3 列車影響

〈運 休〉 84本

〈遅 れ〉 66本 最大124分（該当列車 やくも10号）

〈影響人員〉 約 11,000人

〈運転を見合わせた線区〉

- ・ 山陽線 上郡～三原駅間 ・ 福塩線 福山～府中駅間 ・ 赤穂線 岡山～播州赤穂駅間
- ・ 宇野線 岡山～宇野駅間 ・ 瀬戸大橋線 岡山～児島駅間 ・ 芸備線 新見～備後落合駅間
- ・ 姫新線 上月～新見駅間 ・ 因美線 津山～智頭駅間 ・ 津山線 岡山～津山駅間
- ・ 伯備線 倉敷～伯耆大山駅間 ・ 吉備線 岡山～総社駅間

4 原 因

運行を管理するシステムの更新作業を行っていた作業員（社員）が、配線を誤って電源をショートさせたためです。